

令和8年9月8日の大雨に伴う市長コメント（9月18日発信）

市民の皆様へ

9月8日の豪雨災害から10日が経過しました。改めまして、被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

この間、現地の状況報告や被災された方々のお声に接する中で、災害が市民生活に与えた影響の大きさを改めて実感しております。浸水した住宅や職場の片付けに追われている方、被害を受けた家財等の整理に心身ともに疲れを感じている方、また、マンションが管理する給水設備の故障などにより、今なお日常生活に支障を抱えながら暮らしておられる方もいらっしゃると思います。

発災から日が経ち、まちの様子は少しずつ落ち着きを取り戻しつつありますが、被災された皆様にとっては、決して終わった災害ではなく、先の見えない不安や疲労の中で日々を過ごしておられる皆様のお気持ちを思うと、大変心が痛みます。

一方で、今回の豪雨では、観測史上最高となる時間雨量を記録し、市内の広い範囲が冠水する事態となりましたが、尊い命が失われることはありませんでした。これは、市民の皆様お一人おひとりが自ら命を守るための行動をとっていただいたことに加え、地域で防災活動に取り組まれている方々、町内会や自主防災組織の皆様、企業の皆様をはじめ、多くの方々の助け合いの力によるものと考えております。心から感謝申し上げます。

さて、現在、建物被害調査を進めるとともに、罹災証明書や被災証明書の発行を通じて、被災された皆様が必要な支援を受けられるよう取り組んでおります。

名古屋市といたしましては、シルバーウィーク中も調査を継続し、一日でも早く支援をお届けできるよう全力を尽くしてまいります。皆様に、調査へのご協力をお願いする場面もあると思いますので、ご理解をお願いいたします。

また、名古屋市公式ウェブサイトでは、今回の災害に際し、「被災された方への支援」と「これまでの被害の状況」に整理し、必要な情報を分かりやすくお伝えできるよう努めています。ぜひご活用いただきたいと思います。今後も、市民の皆様が必要な情報に迷わずたどり着けるよう、努めてまいります。

なお、シルバーウィーク期間中は、台風の接近が危惧されます。被害を受けた地域では地盤が緩んでいる場所などもありますので、最新の気象情報に十分ご注意いただき、安全を第一にお過ごしください。

被災された皆様が一日も早く平穏な日常を取り戻すことができるよう、引き続き職員一丸となって全力で取り組んでまいります。

令和8年9月18日
名古屋市長 広沢 一郎